



奇跡のメロンに向けて生長中！

元肥には堆肥を投入、同時にEM活性液（EMスーパーセラ発酵Cを配合）を施用。

久留米品種の交配種を使用。メロン栽培はツルを2〜3本残して、ツル1本に果実1個にするように調節します。メロンは7〜13節目あたりのものが甘くなるので、手前のものは実をとります。蜜蜂の自然交配で、交配時期に雨が続くと蜂が来ないのですが、EM栽培は殆どその影響はありません。今年は雨も少なく、おいしいメロンになりそうです。

EMが大好きな浜田利治さんは会社員ですが、休日を利用して、農家のお手伝いをしています。きっかけは、会社のOBの方に、良い野菜を食べた方がいいと勧めたところ、「自分で野菜も作ったことがなくせに何を言っているんだ」と言われ、悔しい思いをしたからです。それまで、生ごみをEMで発酵肥料化したり、EMの使い

方はいろいろな実践して自信をもって人に勧めていました。しかし、EMのもっとも得意分野である農業への使い方がわからないのではだめだと思い、心機一転、農地が近くにある三浦半島に自宅を購入して移り住みました。同時に、EM販売店が募集した農業体験に応募して参加しました。その時に体験先として紹介されたのが横須



神奈川県横須賀市 浜田利治さん

奇跡のメロンなるか EM栽培 5年目の挑戦



賀市でメロンやダイコンを中心に栽培する三富農園でした。三富さんに、土日お手伝いをするので、農業の基本と機械の使い方を教えてほしいと頼みました。また、三富さんから小面積の畑を借りてメロン、スイカの無農薬栽培に挑戦を始めたのが4年前です。現在週の土日の1.5日は三富さんのお手伝いをして、残り0.5日で自分の畑の世話をしています。

浜田さんは、苗は三富さんと同じものを使用。しかし農薬も有機化成肥料も不使用で栽培すると宣言しました。夏場、無農薬での野菜栽培は難しく、特にメロンは無理と言われて、かえって挑戦を固く決意。

去年までの4年間はほぼ全滅状態でした。ダイコン・キャベツなどの冬野菜からの切り替えが遅れぎみなのと、有機物の少なさが原因ではないかと考えて、EMで再処理した堆肥を反当たり5〜6トン入れてEMセラミックス配合の活性液を施用したところ、土が変わりました。作物以外の残渣は畑に戻していましたが、土づくりには農産物の残渣だけでは十分ではありませんでした。最初に有機物をしっかりと入れることが重要です。

従来の考え方では、農家は肥料過多

EMの木酢効果

家庭菜園で生ごみ発酵肥料を入れると、1回目は必ずと言っていいほど臭いやハエが出ます。もし臭いやハエが出たら、木酢が効果があります。犬や猫の臭い消しにも効果てきめん！

有名な三浦ダイコンの洗浄にEM活性液が大活躍

三浦半島は大根が有名で、三富農園でも栽培しています。横須賀市の中では5本の指に入る経営規模の面積（2.5ha）を3回転します。繁忙期には、ダイコンの洗いに洗浄機がフル稼働しますが、その時に、EM活性液を投入。今まではプラスチックのプレートが過重のためか、毎年割れたりしていましたが、なぜかEM活性液を投入した今年は割れもせず、機械が順調でした。また洗いの水が流れる排水口からの臭いも出なくなりました。もちろんダイコンの育苗にはEMを活用。



EMを洗浄機（右）で使用し続けたら、臭いが出なくなった排水口（左下）

浜田さんのこだわり あれこれ

EMと苗半作の効果で玉ねぎが大豊作

この玉ねぎは浜田さんがEMでつくった玉ねぎです。淡路島でEMを活用して玉ねぎを栽培している阿部さんから、玉ねぎの苗を400〜500本もらったので、苗半作といわれるとおり、とてもいい玉ねぎがたくさん採れました。阿部さんとの出会いは、養殖の生け簀でのEM活用で相談を受けたのがきっかけでした。



を気にして、有機物の投入を控えますが、EMで発酵させていけば、EMが肥料の効き目を調節してくれるので、多くても障害は出ないし、多い方がEMの効果を出しやすいと思っています。

三富さんは糖度が17度のメロンを栽培して産直も手掛けています。浜田さんのメロンは昨年までは、11〜12度で、まだまだでしたが、雨の少ない今年の出来は良さそうです。



EM栽培5年目に入る浜田さんの畑